

あ な た と 市 政 を む す ぶ



かんおんじ

2021 / 令和3年

9

September



夏の思い出、

できたかな

ふるさと学芸館では、夏休み期間に、紙すき体験や科学の自由研究教室を開催しました。感染予防対策のために、友達とあまりおしゃべりはできなかったけれど、楽しい思い出になったかな？

かんおんじタウン情報

8/6 ~観音寺ブランド認証品「ホウナンの梨」~ さめき讚サンはなやか大使が、梨をPR

県内唯一の梨の産地として100年以上の歴史がある豊浜町和田地区で、梨の出荷が始まりました。8月5日からJA香川県和田事業所敷地内に梨の直売所がオープンし、6日には「さめき讚フルーツ」など香川県産農産物のPR活動を行う「さめき讚サンはなやか(花野果)大使」の高橋美羽さんが、訪れた人を笑顔で出迎えました。

ことしは開花が早かったため、例年より5日ほど早く梨の収穫が始まっています。ホウナンの梨は、幸水、豊水、あきづきなど品種を変えながら9月下旬ごろまで出荷される予定です。

ホウナンの梨のソフトクリームもお薦めです



直売所では採れたての梨のほか、ホウナンの梨を使ったソフトクリームや焼き肉のたれなども販売しています。梨直売所(午前9時~午後5時 ☎52-2161 ©56-3014)



「ことしは開花や梅雨入りが早く、果樹栽培に難しい気候だった。例年より小ぶりだが、甘くおいしい梨を味わってほしい」と話す豊南地区梨部会の川上益弘部長

8/7,8 市民講座発表会 多彩な才能きらめく

市民講座の発表会が中央図書館など3会場で2日間開催されました。毎年5月に開講する講座の成果を発表するもので、押し花やちぎり絵、書道、篆刻(てんこく)、マジックなど12講座で制作した作品、学習の成果を披露しました。パッチワーク講座に通う女性は「作品を見てもらえると張り合いがある。他の人の展示を見るのも楽しい」と話していました。



7/10 夢が詰まった花火イラストを展示

市内5歳児を対象に募集した花火のデザインイラスト253点の展示が中央図書館で行われました。「かんおんじ銭形まつり」が中止となり、花火の打ち上げも中止となる中、子どもたちが描いた花火を多くの人に見てもらおうと同実行委員会が主催したものです。15日には、たんぼぼ保育園と観音寺聖母幼稚園の園児が見学。お気に入りの花火を見つけると、嬉しそうに友だちと教え合っていました。

優秀作品はデジタル花火化し、打ち上げ動画を制作しています



銭形まつりの花火は中止になりましたが、子どもたちが描いた、スイカやドーナツ、星など夢がいっぱいの花火を紙面で打ち上げます!



7/14 萩リンピックで赤ちゃんが熱戦

ほっとはうす萩で第5回萩リンピック「はいはい競争」が行われ、6カ月から1歳までの親子15組が参加しました。家族がお気に入りのおもちゃや絵本で注意を引き、赤ちゃんは懸命に6メートル先のゴールを目指しました。参加者は「はいはいしている時期にちょうど参加できてよかった」「同年代の子と交流ができて楽しかった」と話していました。



7/31 牛乳パックがはがきに「紙すき体験」

自然体験などを通して豊かな心を育む「わくわく体験教室」をふるさと学芸館で開催し、市内の小学生18人が紙すきを体験しました。牛乳パックからパルプ液を作り、枠に流し込んで手作りのはがきを作りました。参加した子どもたちは「家や学校ではできないことができて楽しかった」「おじいちゃんやおばあちゃんにはがきを送りたい」と話していました。



8/9 夏休み、香川大学生と勉強しよう!

香川大学と連携して、市内の小学生を対象にふるさと学芸館で宿題教室と自由研究のイベントを開催しました。合わせて48人の子どもたちが参加し、大学生から夏休みの宿題のサポートを受けたり、揺れながら転がる「アルミたまご」や水と油の性質を利用したオブジェを製作したりしました。

活動の様子を学生たちが発信中!



戦後76年 あの日を知る、伝える



観音寺飛行場ジオラマ ふるさと学芸館で公開

終戦直前に市内に開隊された観音寺海軍航空隊の歴史を伝えようと西讃プラ模型クラブが制作した飛行場のジオラマが完成し、8月9日にふるさと学芸館に寄贈されました。

眞鍋館長は「模型を見ることで、身近にこのような施設があったのだと想像しやすくなる。平和学習の資料として大変貴重なものなので、ぜひ多くの人に見てもらいたい」と話します。

ジオラマは同館「平和の部屋」に展示しています。

寄贈されたのは、飛行場ジオラマと終戦時に飛行場にあった航空機などの模型7点。縦85cm、横127cmのジオラマには格納庫や資機材のほか、約2cmの人物模型が各所に置かれ、飛行場でさまざまな作業や業務に従事していた人の様子を再現しています



ふるさと学芸館企画イベント「平和の音色～鈴に託す祈り～」を開催 一人ひとりの平和への願いは広島へ



自分にとって平和とは何かを考えるきっかけにもらいたいと、平和への願いを込めたメッセージを募集しました。7月には中部中学校*の3年生約180人が、平和学習でメッセージを記入しました。集めたメッセージは手作りの風鈴に吊るし、平和の音色を奏でるオブジェとしてふるさと学芸館に8月末まで展示しました。皆さんから寄せられた平和への願いは今後、広島大学に送り、同大学医学部医学資料館に展示される予定です。

※かつて観音寺飛行場が建設された地域にある中学校



広島大学原爆瓦発送之会の嘉陽礼文会長からメッセージ



広島県物産陳列館（現在の原爆ドーム）の建築に際し、その構造の大部分を占めたれんが材は、観音寺市の讃岐煉瓦株式会社で製造されたものでした*。そのご縁で、原爆ドーム近くで被爆し生き残ったシダレヤナギの苗木をふるさと学芸館に植樹したり、同館から送られた平和のメッセージを書いた折り鶴を医学資料館に展示したりと、共に平和発信を行っています。平和を希求する協力体制に勇気を頂くとともに、皆さまに深く感謝しております。

※れんがの鑑定は、讃岐煉瓦株式会社元工場長の三好則夫さんに依頼しました。

（写真上）広島大学医学部医学資料館（写真下）ふるさと学芸館で昨年開催した「平和へと羽ばたく折り鶴」展の折り鶴、讃岐煉瓦(株)製の被爆れんがは同資料館に展示されています（被爆れんがはふるさと学芸館でも常設展示）



第35回全日本小学生男子ソフトボール大会
（8月7日～10日開催）
常磐少年ソフトボールクラブ



第15回全国中学生少林寺拳法大会
（8月13日～15日開催）
【男子自由組演武の部】
秋山叶太（中部中学校1年）
中西望夢（中部中学校1年）



第33回全国健康福祉祭ぎふ大会
ねんりんピック岐阜2021
テニス交流大会
（10月30日～11月1日開催）
【個人男子60歳以上ダブルスリーグ】
辻輝幸、前田和成



第48回全日本中学校陸上競技選手権大会
（8月17日～20日開催）
【男子400メートル】
川上大智（豊浜中学校3年）
第37回全国小学生陸上競技交流大会
（9月18日～19日開催）
【5年女子100メートル】
満江莉子（観音寺小学校5年）



2021年少林寺拳法全国大会
in Tokyo
（10月10日開催）
【発表の部 組演武 家族の部】
竹内猛、竹内心櫻（大野原中学校1年）
【競技の部 組演武 中学生男子の部】
大西広晃（中部中学校1年）
小山泰季（豊中中学校2年）



（写真左から敬省略）

7/20 人権擁護に尽力 法務大臣から感謝状

ことし6月で人権擁護委員を退任された藤岡修さんに、高松法務局観音寺支局の平山支局長から法務大臣感謝状が伝達されました。平成18年4月の委嘱以来、5期15年にわたり委員を務め、地域の人権相談や人権擁護啓発活動に大きく貢献されました。藤岡さんは「人それぞれの生き方を認め、人を大事にすることに気を付けながら活動してきた」と話していました。



8/4 青少年育成功労者・善行青少年表彰式

長年にわたって青少年の健全育成に携わっている人や、校外で他の模範となる善い行いを続けている小・中学生に青少年育成観音寺市民会議から表彰状を贈り、その功績をたたえました。

青少年育成功労者：4人
善行青少年：26人（小学生17人、中学生9人）

